

スマホやネットに潜む危険 ～子ども達のネット環境を理解しよう～

【今どきのネットワーク環境】

新年度を迎え、新たな生活を始める方も多くいらっしゃることでしょう。特に新中・高校生や、新大学生、新社会人は、この機会に携帯電話（スマホ）等の携帯端末を新規購入したり、買い替えたりすると、ご自身の生活環境に合わせて、ネット環境も変化することになるでしょう。

今どきのネットワーク環境は、スマホの普及とWi-Fiの普及で大きく変わり、子どもたちは携帯電話を持たなくても、ポータブルゲーム機でもネットゲームをすることもできるし、動画も見られるし、友達とおしゃべりもできます。でも、インターネットの仕組みや詳しいことを理解しているからできるのではなく、いわば経験則のような、「触っているうちにできるようになった」感じで使っているのではないのでしょうか。小学生低学年でも、音声検索を使って、分からない事を自分で調べます。

中・高生になると、スマホの所持率が上がり、自分自身の端末でSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）で様々な人とつながることが出来ます。『どうせ、誰も私の投稿なんて見ていない…』という気持ちでいても、本当に誰も見ていないのでしょうか。投稿は、必ず人の目に触れます。メールでは、送った相手しか見えないけれども、SNSはWeb上かフォロワーの端末に残せます。投稿内容によっては、検索エンジンが見つげ出します。ヒットした条件に基づき過去の投稿がリストアップされ、見られたくない内容までも見られてしまう事があります。一度アップした投稿は、消すことがほぼ不可能と言われていています。

【ネットサービスを正しく理解し、通信機器類を使おう】

危険だったら持たせないようにするか？いえ、いつまでも持たない状況ではなくなっています。今は、『持たせて我慢する経験をさせる』ことが大切だと、NIT情報技術推進ネットワーク株の篠原さんが警鐘を鳴らしています。時間を決めて使う我慢、学校に持っていかない我慢、それが身に付くと、職場では使わないことが常識として身に付きます。我慢していない大人が数々の投稿トラブルを起こしているのではないかと…？

災害時に公衆電話が使えない子どもが増えています。スマホの電池がなくなると親の番号を覚えていない子どもは連絡が出来ません。好きな番組だけしか観ない環境は、一般常識が欠落します。アナログな新聞で地元の情報を知ったり、顔を見て会話したり、友達と遊び、人とのつながりの大切さを学ぶこと、いわゆる、ちょっと前の便利でない体験をして、またその楽しさも体験することが、今後の生活に良い影響をもたらすのではないかと考えます。

子どもがどのようにネットと関わっているか、どのように端末機器を利用すると良いか、ルール作りも含めて、ぜひ、ご家族でお話してみたいかがででしょうか。

[NIT 情報技術推進ネットワーク株篠原嘉一さん講演より一部引用]

消費生活相談のことなら・・・

- 岐阜県県民生活相談センター 058-277-1003
- 輪之内町消費生活相談窓口(住民課) IP:050-5808-9600, 0584-69-3111
- 消費者ホットライン ☎^{いちゃ}188